【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年12月13日(2012.12.13)

【公表番号】特表2012-507365(P2012-507365A)
【公表日】平成24年3月29日(2012.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2012-013
【出願番号】特願2011-534760(P2011-534760)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　17/58　　(2006.01)
Ａ６１Ｈ　23/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　 5/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　18/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/58
Ａ６１Ｈ　23/02　　３４１
Ａ６１Ｆ　 5/00　　Ｚ
Ａ６１Ｂ　17/36　　３３０

【手続補正書】
【提出日】平成24年10月24日(2012.10.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検者の骨形成を加速させるために用いられる超音波送達システムであって、前記システムが、超音波が送達されるべき被検者の領域に実質的に応従するように構成された被検者に面する表面を有する被検者取付構造体を備え、前記被検者取付構造体が、
前記被検者に面する表面上に位置し、各々が超音波振動子を受け入れることができる、一対の超音波振動子ホルダと、
ベルト取付領域と、
を備える、超音波送達システム。
【請求項２】
前記被検者取付構造体が、前記被検者取付構造体が適用される被検者の領域に対して、前記対の振動子ホルダのうちの少なくとも1つの上方/下方、内側/外側、又は前方/後方位置のうちの少なくとも1つを変化させるための機構を備える、請求項1に記載の超音波送達システム。
【請求項３】
前記振動子ホルダを、前記被検者取付構造体上に取り外し可能に配置することができる、請求項2に記載の超音波送達システム。
【請求項４】
前記被検者取付構造体は、前記振動子ホルダを留め付けることができる振動子ホルダ位置決め穴のアレイを備える、請求項3に記載の超音波送達システム。
【請求項５】
前記対の振動子ホルダのうちの少なくとも1つが振動子ホルダ支持部材上に支持され、前記振動子ホルダ支持部材が、前記被検者に面する表面を少なくとも部分的に横切って延びるトラックと関連付けられ、且つ前記トラックに沿って移動可能である、請求項2に記

載の超音波送達システム。
【請求項６】
ゲル保持カップが、前記振動子ホルダと関連付けられる、請求項1から請求項5までのいずれかに記載の超音波送達システム。
【請求項７】
前記被検者取付構造体が少なくとも二対の振動子ホルダを備える、請求項1から請求項6までのいずれかに記載の超音波送達システム。
【請求項８】
前記被検者取付構造体が、前記被検者取付構造体を解剖学的構造体と及び/又は前記被検者上のマークと位置合わせするのに用いられる位置合わせ形状部を備える、請求項1から請求項7までのいずれかに記載の超音波送達システム。
【請求項９】
前記被検者取付構造体が、前記胴に実質的に応従するように構成される、請求項1から請求項8までのいずれかに記載の超音波送達システム。
【請求項１０】
前記被検者取付構造体が身体に応従できるようにするために、前記被検者取付部の少なくとも一領域が可撓性材料で作製される、請求項1から請求項9までのいずれかに記載の超音波送達システム。